



展示概要

日本のマンガのバラエティ豊かな創作の源として、またマンガだけにとどまらず、文章、音楽、ゲームなど、多くの表現の場である同人誌即売会「コミックマーケット」。1回の開催で参加者のべ55万人が集まるこの巨大イベントでは、毎回1000ページを超える厚い冊子版カタログ、細かなジャンル分けがなされたサークル参加申込書セットなど、様々な書類、冊子が生み出されています。時代に寄り添い柔軟に変化してきたこれらの膨大な紙資料は、いまやそれなくしては参加も運営も成り立たないほどの、コミケの名脇役です。

コミックマーケット創設者のひとりであり、第2代代表を長く務めた米沢嘉博氏所蔵の資料のほか、様々な貴重資料を基に、このイベントがいかに育ち今に続いてきたかを、紙資料から読み解きます。

コミックマーケット55
参加申込書セット



会期日程

【前期】9月6日[金]～9月30日[月]

【後期】10月4日[金]～11月4日[月・祝]

関連イベント

トークイベント **「コミケの紙モノを語る」** ～申込書からダンボール箱まで55万人を支える秘訣～



出演 ▶ 安田かほる、筆谷芳行、市川孝一

日時 ▶ 2019年9月28日[土]16:00～17:30

会場 ▶ 明治大学リビティタワー12階 1123教室 料金 ▶ 無料

コミックマーケット準備会共同代表の安田かほる、筆谷芳行、市川孝一の三氏をお招きし、コミックマーケットを支える紙資料の多様さと、その紙モノたちが円滑なイベントの実施にどのように影響しているか、これまでのエピソードを交え、発展の様子を語っていただきます。
※ 参加には整理券が必要です。当日 12:00～米沢嘉博記念図書館1階にて整理券を配布いたします。詳しくはHPをご覧ください。

ギャラリートーク **「紙資料からコミケを読み解く」**

開催日 ▶ 期間中毎週金曜日18:30～19:00

場所 ▶ 米沢嘉博記念図書館 1階閲覧室 料金 ▶ 無料

米沢嘉博記念図書館司書が展示のみどころをご案内します。

コミックマーケット

1975年12月第1回コミックマーケットが開催され、2019年8月の開催で96回目を迎えた。自主制作した冊子（同人誌）などを持ち寄るほかに、現在はコスプレや企業ブースなど参加者の楽しみ方も多彩である。いち民間団体主催では日本最大の屋内イベントであり、同人誌即売会としては世界最大の規模。海外からの参加者も多い。日本独自のマンガ文化を支えるゆりかごの役目を果たしている。

米沢嘉博 略歴

1953年3月21日、熊本県熊本市生まれ。明治大学在学中より批評集団「迷宮」の活動に参加。ライター・編集などを経て、マンガ評論を中心に大衆文化関連の評論を行う。

1975年第1回コミックマーケット創立メンバーの一人。1980年から2006年までコミックマーケット準備会代表を務め、現在の同人誌即売会コミックマーケットの理念を形づくった。

展示品

コミックマーケットカタログ表紙原画
(C33/1987年、C71/2006年、C88/2015年ほか)

コミックマーケットカタログ掲載マンガ原画(C49/1995年ほか)

森林保護募金ポスター原画(C49/1995年)

ブロックノート掲載マンガ原画(C54/1998年ほか)

コミックマーケット準備会発行物など

期間により展示替えがあります。詳しくはHPをご覧ください。

※ 2階閲覧室にて、コミックマーケットカタログ冊子版をはじめ、関係資料を閲覧いただけます。

TEL 03-3206-4404
https://www.eitai.co.jp/yozawaza/lib/index.html

